ESPRESSO
MACHINE

INSTRUCTION MANUAL

Y1.1 TOUCH

IPERESPRESSO

■ ご使用の前に

ご使用の前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

■ 重要事項

本体や取外し可能な部品を絶対に水に浸けたり食器洗浄機には入れないでください。
水タンクの水は定期的に取り換えてください。
タンクが空の状態で、マシンを絶対に使用しないでください。
２ヵ月に１度は、市販のコーヒーマシン専用のスケール除去剤を使って、スケール除去を行う事をお勧めします。（方法についてはスケール除去の章をご参照ください。）
本体は、一定の圧力を維持するバルブを装備しています。
そのため、抽出ユニットから少量の水がポタポタと落ちることがあります。

注記：
水の中に含まれている成分（ミネラル分等）が、製品をご使用されている間に自然に製品内部の管に付着していきます。（付着物を「スケール」又は水あかと呼びます。）
放置していると製品の故障の原因になりますので、スケール除去剤をご使用になり、スケール除去を行うことをお勧めします。
スケール除去剤は「カルキ除去剤」という名称でも販売されています。

目　次

- 安全上のご注意 …… 2
- 各部のなまえ …… 4
- はじめてのご使用 …… 5
- 電源 ON …… 6
- 電源 OFF …… 7
- 節電モード …… 7
- カップスタンドの位置調節 …… 8
- コーヒーの抽出 …… 9
- コーヒー抽出量の調節 …… 11
- スケール除去 …… 12
- 掃除とメンテナンス …… 15
- 保証の制限 …… 16
- 仕様／推奨 …… 17
- 表示の説明 …… 18
- 故障かな？『トラブルシューティング』 …… 20
- 保証書
- 修理・アフターサービス

安全上のご注意　各注意事項を、必ずお守りください。

★ ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
★ ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
★ 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

⚠ **危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。
⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

★ 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
：禁止	：接触禁止	：指示を守る
：水ぬれ禁止	：分解禁止	：電源プラグを抜く
：ぬれ手禁止		

⚠ 危険

自分で絶対に分解・修理・改造は行わない
感電・火災の原因になったり、異常作動してケガをすることがあります。

⚠ 警告

電源／コンセントについて

電源は交流100V（50/60Hz）で「15A125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取り付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。

コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
コンセントの差込み口が2つある場合は、片方の差込み口を使用せず、空けたままにしてください。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

電源プラグ／電源コードについて

電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
使用中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターに、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。

電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

動作中に電源プラグを抜き差ししない
感電・火災の原因になります。

電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。

変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターに、交換を依頼してください。

⚠ 警告

使用中／使用後について

お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない
ヤケド・感電・ケガの原因になります。

コーヒー抽出口や給湯ノズルから出てくるお湯やスチーム（蒸気）に注意する
高温のため、ヤケドの原因になります。

使用中は給水タンク内の水量をチェックする
極端に水が少ない状態が続くと異常発熱し、発火する恐れがあります。

使用中

異常が生じた場合は、使用を中止する
万一、異常が生じた場合は、直ちに**電源を切り**、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。

お手入れについて

本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う
ヤケド・感電・ケガの原因になります。

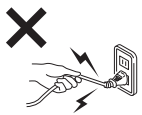
⚠ 注意

電源について

ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する
使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。

電源プラグ／電源コードについて

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



使用中は、電源コードを本体に触れさせない
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。

⚠ 注意

設置場所について

本体は不安定なところや熱に弱い場所、屋外には置かない
本体や置いた物・場所が変形･変質したり火災の原因になります。

使用中／使用後について

本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する
感電・火災の原因になります。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
誤って、電源が入る恐れがあります。

本体や操作部に水やジュースをこぼさない
本体や操作部(コントロールパネル)に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、使用を中止します。その後、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。

使用中および使用後しばらくはコーヒー抽出口部分に触らない
ヤケドの原因になります。

他の用途で使用しない
本製品は、コーヒーの抽出、給湯／加熱専用です。故障の原因になります。

使用しないときは、電源を切り、必ずプラグをコンセントから抜く
故障の原因になります。

給水タンクの最大水量（MAX 表示）を超えて水を入れない
故障の原因になります。

他製品の部品や付属品などを組み合わせて使用しない
故障や事故の原因になります。

お手入れについて

使用後は、必ずお手入れする
故障の原因になります。

絶対に、水に浸したり、水洗いをしない
故障の原因になります。

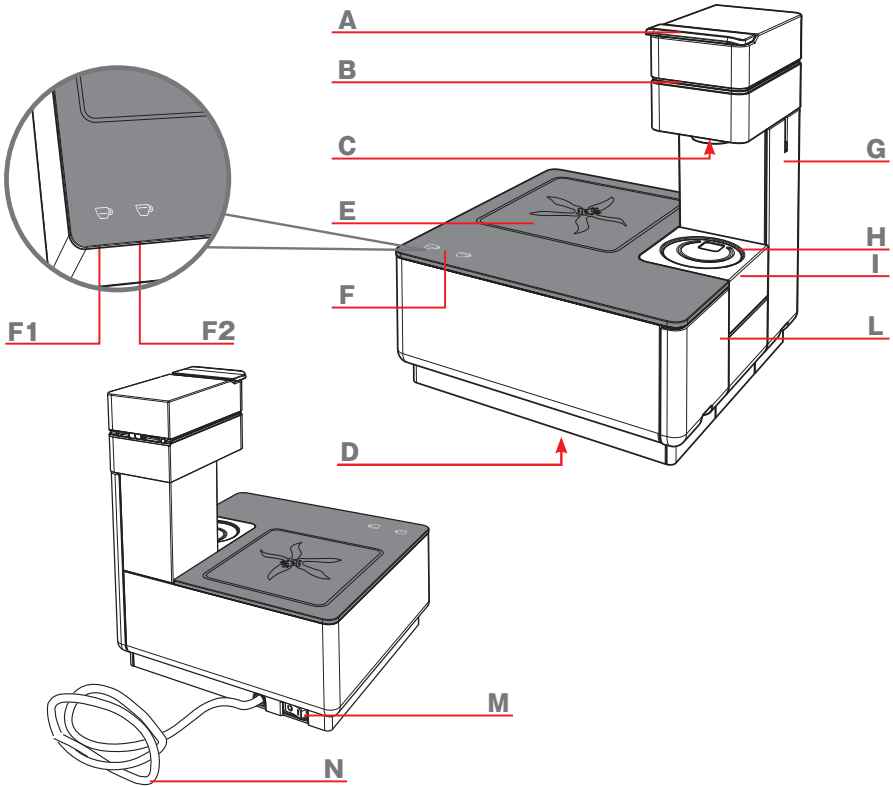
本体と電源コード／プラグに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしない
感電やショート､故障の原因になります。

洗剤は、必ず台所食器用洗剤を使用する
研磨剤入り洗剤やクレンザー、漂白剤、スプレー洗剤などは使用しないでください。本体の表面が変質し、はがれ･変色･樹脂部品の割れの原因になります。

ガラス磨き、シンナー、アルコール、ワイヤーウール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどは使用しない
本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。

■ 各部のなまえ

A．開閉レバー（カプセルホルダー）
B．カプセルホルダー
C．抽出ユニット
D．マシン本体
E．カップウォーマー
F．タッチボタン
　F1．エスプレッソ
　F2．ロングエスプレッソ
G．カプセルコンテナ（使用済みカプセル入れ）
H．カップスタンド
I．ドリップトレイ（内側）
L．水タンク
M．主電源スイッチ　ON／OFF
N．電源コード



■ はじめてのご使用

本体を電源に繋ぐ前に、取扱い説明書の重要安全事項をよくお読みください。

1　水タンク“L”を少し上げて水平に引っ張り、本体から取り外してください。❶

2　タンクのカバーを外してください。❷

3　新鮮な水をMAXマークまで入れてください。❸

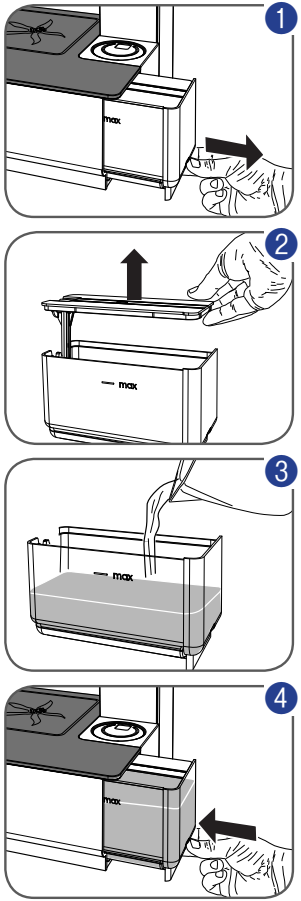
4　タンクのカバーを元に戻し、本体にしっかりはめてください。❹
　　プラグをコンセントに差しこんでください。

⚠ 警告：

タンクには、新鮮な飲料水のみ入れてください。

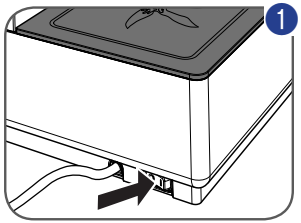
熱湯や、他の液体を入れるとタンクにダメージを与える可能性が有ります。

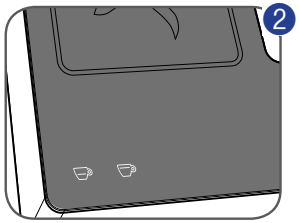
ご使用前に必ず水が入っている事を確認してください。

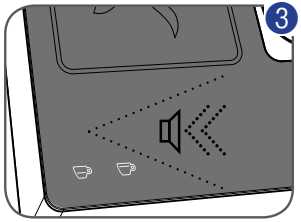


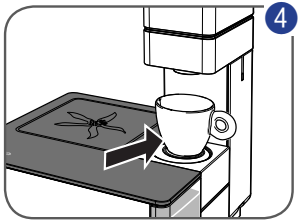
■ 電源 ON

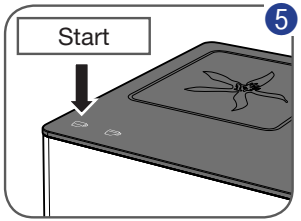
1　マシンの電源を入れる前に、水タンクの水量を確認し、MAXマークまで水を補充してください。
2　主電源スイッチを“○”から“ー”の位置に動かしてください。❶
3　☕ ボタンと ☕ ボタンが左から右へ繰り返し点滅します。これは本体がウォームアップ状態であることを示します。❷
4　☕ と ☕ ボタンが点灯し、ブザー音が鳴るまでお待ちください。これでマシンが適正な温度に達した事を示します。❸
5　抽出ユニットの下にカップを置いてください。❹
6　湯通しをするために ☕ ボタンを押してください。抽出ユニットから湯がでてくるまでお待ちください。設定量で抽出がとまりますが、タッチスクリーンのボタンを再度押すことによっても抽出を止めることができます。❺











注記：
☕ と ☕ ボタンが点灯していないとき、もしくは点滅しているときにはお湯またはコーヒーの抽出はされません。
初めてご使用になるときや、一週間以上使用していなかった場合、カプセルを入れずに数回分湯通しをしてから使用する事をお勧めします。

⚠ 警告：
コーヒーを抽出する前に、カプセルホルダー“B”がしっかり閉じている事を確認してください。
コーヒーの抽出中には絶対に開けないでください。

■ 電源 OFF

1　本体の電源を切る前に、カプセルを入れずに湯通しをする事をお勧めします。
2　マシンの電源を落とすには、主電源を“ー”から“○”の位置に動かしてください。

⚠ 警告：
マシンの電源が入っているままでは絶対にプラグをコンセントから抜かないでください。

■ 節電モード

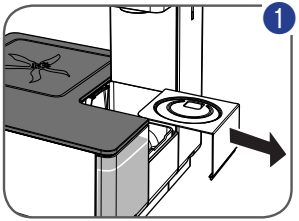
本製品は、使用していない時に電気消費量を減らすようプログラム化されています。
60分間使用しないと、マシンは自動的に節電モードになり、 ボタンがゆっくり点滅します。マシンを通常の状態に戻すには、２つのタッチボタン（F1、F2）のどちらかを押してください。

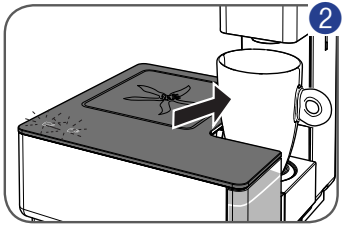
■ カップスタンドの位置調節

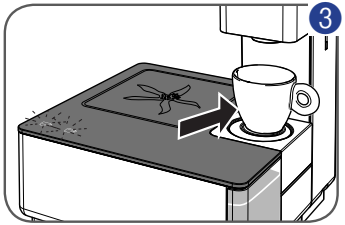
本製品は、コーヒーカップでもエスプレッソカップでもお使いできるようデザインされています。

1　カップスタンド“H”の位置を調節するには、“H”を右側から取り外してください。❶

2　コーヒーカップに最適な位置“ロング”エスプレッソ用❷かエスプレッソカップに最適な位置❸に合わせてください。

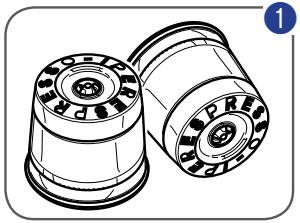


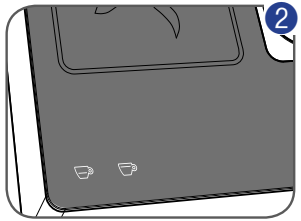




注記：
カップスタンド“H”の高さは、コーヒー抽出前に調整してください。

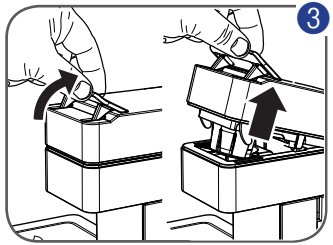
■ コーヒーの抽出



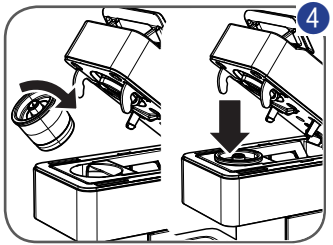


Y1.1は“Iperespresso”カプセル専用マシンです。❶

1　☕ と ☕ ボタンが点灯している事を確認してください。❷
2　カプセルホルダー“B”の開閉レバー“A”を開けてください。❸
3　図のように、カプセルを挿入してください。❹



注記：
もしもカプセルホルダー“B”にカプセルが入っている場合、カプセルホルダーを開けたときに自動的にカプセルコンテナ“G”へ放出されます。
カプセルは簡単に挿入できるようになっています。
もし、挿入しづらい場合は一度外してから正しく入れ直してください。



⚠：
マシンがダメージを受ける場合がありますのでIperespressoカプセル以外のカプセルはお使い頂けません。

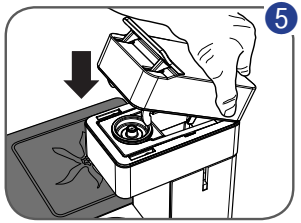
4　本体上部の可動部をしっかりと下げて、ロックされるまで開閉レバー“A”を下へおろしてください。5 6

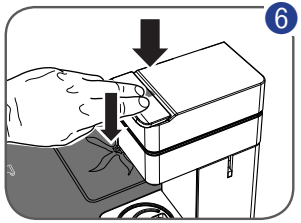
5　カップスタンド“H”にカップを置いてください。

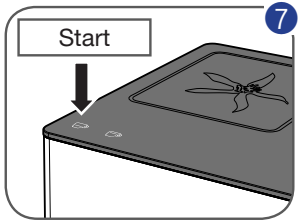
6　どちらかカプセルに合わせたタッチボタンを一秒ほど触れてください。7

- エスプレッソ“F1”
- ロングエスプレッソ“F2”

7　コーヒーが設定量に達すると自動的に止まります。







注記：

タッチボタンは温度を感知して作動します。
指が冷えていると作動しにくくなりますので、その場合は指をあたためてから触れてください。
本体はエスプレッソ／ロングエスプレッソ、各ボタンに初期設定があります。
各ボタンの抽出量はお好みで設定調整が可能です。次章でその調整方法をご参照ください。

⚠ 警告：

カプセル１つで抽出できるのは１杯分です。２杯の抽出には使用できません。
きちんとドリップトレイ“I”を清掃し、カプセルコンテナ“G”を空にしてください。
タンクの水の交換は頻繁に行うようにしてください。

■ コーヒー抽出量の調節

と ボタンそれぞれのコーヒーの量を設定することができます。

●ここではエスプレッソボタン の設定の仕方のみ解説します。

ロングエスプレッソ“F2” の設定を行うには、同じ手順に従い設定をし、適切なサイズのカップをお使いください。

●お好みの量の抽出を調整・設定するには次の手順に従って行ってください。

1　カプセルをカプセルホルダー“B”に入れてください。
2　カップスタンド“H”に、エスプレッソカップを置いてください。
3　エスプレッソボタン を長押しし続け、お好みの量になりましたらボタンを離してください。これで設定ができました。
　次回からはエスプレッソボタン を押すと、設定した量で抽出されます。

●手動停止

設定した量で抽出が完了する前に、再び同じボタンを押すと手動で抽出を止めることができます。

⚠ 警告：

コーヒーがカップから溢れてしまう可能性があるので、最大約70秒間で、自動的に抽出が止まるようになっています。

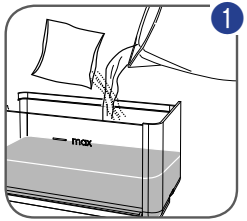
■ スケール除去

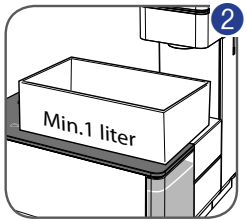
コーヒーマシンは、マシン内部にスケール（水中のカルシウム残留物）が付着した場合の除去のため、一定量のコーヒーを抽出するたびに自動で以下のアラームが表示されます。

アラームの表示： と のボタンが10秒毎に暗くなる。

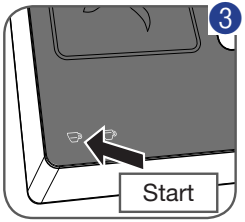
●アラームが表示された場合は、次のように進めてください。

1　主電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
2　カプセルホルダー“B”にカプセルが入っていないことを確認してください。
3　水タンク“L”を取外し、残っている水は捨ててください。
4　水タンクのMAX線まで新鮮な水を入れてください。スケール除去剤をその中に入れ、溶けるまでお待ちください。（早く溶かすには、かきまぜてください。）❶
5　水タンク“L”を正しく本体にはめてください。
6　容量が１ℓ以上ある容器を抽出ユニット“C”の下に置いてください。❷





〈次頁に続く〉



●ここから、スケール除去が始まります。

1　マシンの電源を入れてください。

2　マシンの電源を入れてから15秒以内に、 ボタンを７秒間ほど長押しし、ブザー音がするまでそのままにしてください。 ボタンが点滅し始めます。❸

3　ブザー音がしてから５秒以内に ボタンを再度押すと、再度ブザー音がします。 ボタンは点灯したままになります。

4　再度、５秒以内に ボタンを押してください。

これでスケール除去が始まり、マシンが水とスケール除去剤溶液を排出します。

スケール除去作動中約10分間、 ボタンが交互に点滅します。
ボタンはスケール除去が終わった後もついたままです。

⚠ 警告：
１～４の手順どおりに操作が行われないと、スケール除去は実行されません。
規定の操作ができなかった場合、マシンの電源を1度落とし、１から４を再度実行してください。

〈次頁に続く〉

●内部に残ったスケール除去溶液を排出するため、すすぎを行います。

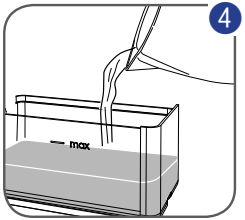
5　水タンク“L”を取り外し、スケール除去溶液の残りを捨ててください。
　　流水でよくすすぎ、新しい水を入れてください。❹

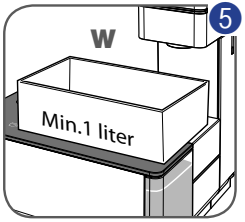
6　水タンク“L”をもとの位置に戻し、しっかりはめてください。

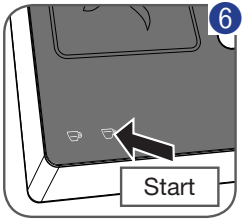
7　容器を空にして、抽出ユニット“C”下に戻してください。❺

8　すすぎを行う為、☕ ボタンを押してください。 ☕ ボタンが点滅します。❻
　　一定の間隔をおいて水が排出され、すすぎを行ないます。(約５分間)

　　すすぎが完了すると、☕ と ☕ ボタンが点灯し、ブザー音が鳴ります。これでスケール除去サイクルが全て終了しました。マシンを通常通りお使い頂けます。





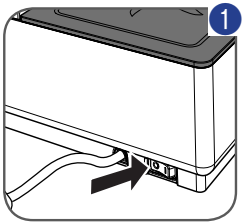


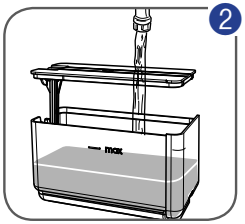
⚠ 警告：
すすぎの際、排出されたスケール除去済みの液体を再び使用しないでください。

⚠：
スケール除去剤として、酢・アルカリ液・塩・ギ酸を使わないでください。本体にダメージを与える場合があります。
コーヒーマシンに適切なスケール除去剤をお使いください。
スケール除去を行っている最中に出される液体を絶対に飲まないでください。
もし、手順８まで完了する前に、電源が落ちたりしてしまった場合、マシンを使用する前に最初の手順１からスケール除去を行ってください。

■ 掃除とメンテナンス

高品質なコーヒー抽出を維持するため、マシンの定期的な清掃をお勧めします。





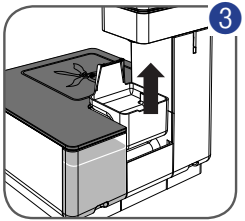
●次の手順に従って、マシンの清掃を行ってください。

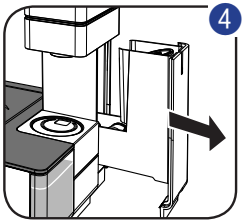
1　マシンの電源を切り、プラグをコンセントから外してください。❶

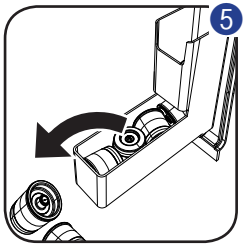
2　水タンク“L”とその蓋を外し、洗ってください。❷

3　カップスタンド“H”とドリップトレイ“I”を外し、洗ってください。❸

4　カプセルコンテナ“G”を引っぱって取り外し、空にしてください。❹
（注意：使用済みカプセルとコーヒー抽出後の液体の残りがトレイに入っています。）❺







注記：

カプセルコンテナ“G”を元の位置に戻す際、正しくはまっている事を確認してください。
ドリップトレイ“I”とカプセルコンテナ“G”を一緒に空にする事をお勧めします。

⚠ 警告：

マシンと付属品を乾燥機で乾かさないでください。

■ 保証の制限

以下に起因するダメージや不具合については保証対象外となります。

- 定期的なスケール除去の不足
- 不適切な使用や、取扱い説明書に従っていない使用
- 内部の改造

認定されていないサービスセンターでおこなった修理費用は、保証対象外です。
そのような費用は全てお客様の負担となります。

⚠ **警告：**
修理が必要となった場合にサービスセンターへ発送のために、最初の梱包材を保有しておくことをお勧めいたします。
（最低でも保証期間内）
充分に梱包せず、輸送途上で起こったダメージは保証対象外となります。

■ 仕様

外装：アルミニウム
熱交換資材：ステンレススチール
水タンク：0.7ℓ
使用済みカプセル収容量：７カプセル
ポンプ圧：19バール
本体重量：５kg
電圧：100V
電力：1250W
サイズ：240×240×2750mm
製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■ 推奨

上質のコーヒーをお楽しみ頂く為、次の事をお勧めします。

- 毎日タンクの水を取り換えてください。
- マシン内のスケールを軽減するため、ミネラル含有量の低い水をお使いください。
- コーヒーカップはあらかじめ温めてからご使用ください。

■ 表示の説明

表示	状況
 ボタンが少しずつ点く	マシンの電源が入り、ウォーミングアップ中
 点灯 ＋ ブザー音	マシンが規定の温度に達しました
 エスプレッソボタン点滅 ＋ ブザー音	エスプレッソを抽出中／エスプレッソの抽出量をプログラム中
 ロングエスプレッソボタン点滅 + ブザー音	ロングエスプレッソ抽出中／ロングエスプレッソの抽出量をプログラム中
 ゆっくり点滅	節電モードになっています。 マシンは約60分間使用されないと節電モードになります。 解除するには、タッチボタンF1又はF2を押してください。
 10秒に 1 度暗くなる点灯	スケール除去が必要です。スケール除去サイクルを実施してください。（P12〜14）

表示	状況
 エスプレッソボタンのみ点灯	マシンはスケール除去が選択された事を表示しています。 この状態のときには、タンクにスケール除去溶液が入っていることをご確認ください。
 左右の点滅（エスプレッソ）	マシンはスケール除去の最初のステップである事を表示しておりスケール除去溶液がマシン内部に取り込まれています。 エスプレッソボタンのみが継続的に点滅します。
 ロングエスプレッソボタンのみ点灯	マシンはスケール除去の最初のステップが終了した事を表示しています。 タンクをしっかりゆすぎ、新鮮な飲料水を入れてください。
 左右の点滅（ロングエスプレッソ）	マシンはスケール除去の次のステップが始まった事を表示しています。 マシン内部のすすぎ行っています。 ロングエスプレッソボタンが継続的に点滅します。
 急速な点滅	マシンが正常に機能していません。電源を落とし、30秒たったら電源を入れてください。もし、表示が消えないようでしたら、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターへお問合せください。

■ 故障かな？『トラブルシューティング』

それでも直らない場合……キーコーヒー㈱お客様センターに連絡してください。

問　題	原　因	解決策
マシンの電源が入らない	1）電気コードがコンセントにささっていない。	1）コンセントにプラグを差し込んでください。
	2）電源スイッチ“M”が“O”の位置ある。	2）電源スイッチの“M”を“I”の位置に動かしてください。
コーヒーが抽出されない	1）タンクに水が入っていない。	1）水タンク“L”に水をいれてください。
	2）カプセルが入っていない。	2）カプセルホルダーにカプセルをいれてください。
	3）カプセルが入っているが抽出できない。	3）カプセルを一度取り出し、湯通しをします。その後もう一度カプセルを入れて抽出してください。
	4）マシン上部の開閉レバー“A”がしっかり閉まっていない。	4）開閉レバー“A”を上げてカプセルがカプセルホルダー“B”に入っていることを確認してください。開閉レバー“A”がロックするまで押し下げます。☕ か ☕☕ のどちらかのボタンを押してください。
	5）☕ もしくは ☕☕ ボタンが押されていない。	5）☕ か ☕☕ のどちらかのボタンに触れてください。
	6）ウォータータンクが正しくはまっていない。	6）タンク“L”がカチッとはまるようにいれてください。

それでも直らない場合……お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまで連絡してください。

問　題	原　因	解決策
コーヒーが抽出されない	7）内部にスケールがたまってしまっている。	7）スケール除去サイクルを行ってください（P12〜14）。
	8）ポンプが動かない。	8）カプセルホルダー“B”が空であることを確認し、開閉レバー“A”がロックするまで押し下げ、☕ か ☕ のどちらかのボタンに触れてお湯を出す。カプセルを入れてから再びコーヒーを抽出してください。
抽出ユニットから水滴が落ちる	1）誤ったカプセルの使用。	1）ご使用のカプセルがilly“Iperespresso”かご確認ください。
	2）マシンが節電モードになっているとき。	1）コーヒーのボタンを押してマシンをスタートさせ、両方のコーヒーボタンが点灯し抽出準備が出来るまでお待ちください。☕ か ☕ ボタンを押し、コーヒーを抽出してください。マシン内に残った水分が落ちる事がありますが、正常です。
コーヒーの抽出量がバラつく	1）カプセル個体による微量誤差。	1）多少のバラつきは正常です。
マシン内部から水漏れする	1）故障。	1）電源をオフにし、コンセントからプラグを抜き、水タンクを空にしてください。修理が必要なのでお求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまで連絡してください。